

事務事業名		市道蛸ノ浦合足線道路改良事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画掲載事業	<input type="checkbox"/> 総合戦略掲載事業
政策体系	政策名	0 4 潤いに満ちた快適な都市環境の創造		事業期間	
	施策名	1 5 良好な生活空間の創造		区分	
	基本事業名	0 1 生活道路の整備		期間限定複数年度	
根拠法令		-		※期間欄に計画期間を記入	
所属	部課名	都市整備部建設課		【計画期間】	
	課長名	長岩 智徳		令和4 年度～ 令和5 年度	
	係名	土木係	電話	0192-27-3111	
	担当者	新沼 大輔	内線	316	
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				※全体計画欄の総投入量を記入	
本路線は、東日本大震災による地盤沈下の影響を受け、路面冠水が恒常化したことから応急的な嵩上げを行っているが、応急対応であったことから排水機能が不十分な状態となっている。また、路線周辺の公共施設が復旧され、それらも嵩上げ整備されたが、本路線よりも標高が高い位置に整備されたことから、路線からのアクセスが急勾配となっており、利用者の交通に支障を来している。 本事業では上記諸案件解消のため、排水構造物等の整備を実施し、排水機能の確保及び市道利用者の交通利便性の向上を図るものである。 事業費は委託費、土地購入費、補償費、工事費、事務費として支出される。				全体計画(※期間限定複数年度のみ)	
				総投入量(千円)	
				事業費	
				財源内訳	
				国庫支出金	28,384
				都道府県支出金	0
				地方債	28,300
				その他	0
				一般財源	85
				事業費計(A)	56,769
				正規職員従事人数	5
				延べ業務時間	600
				人件費計(B)	2,400
				トータルコスト(A)+(B)	59,169

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)		
前年度実績(前年度に行った主な活動)	名称	単位	
測量設計	ア	用地買収面積	m <sup>2</sup>
今年度計画(今年度に計画している主な活動)	イ	整備延長	m
用地補償	ウ		
工事施工			
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)		
市道蛸ノ浦合足線	名称	単位	
	カ	計画総延長	m
	キ	主たる利用者数	人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	ク		
路線の嵩上げ、排水構造物等の整備	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)		
	名称	単位	
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)	サ	道路整備総延長	m
市道の排水機能が確保され、満潮時などの路線冠水が解消される。 市道から各公共施設へのアクセスが容易となる。	シ	整備率	%
	ス		

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	事業費	財源内訳	単位	年度						
				2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(目標)	6年度(目標)	7年度(目標)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円			5,384	23,000	0	0	
		都道府県支出金	千円			0	0	0	0	
		地方債	千円			5,300	23,000	0	0	
		その他	千円			0	0	0	0	
		一般財源	千円			85	0	0	0	
		事業費計(A)	千円	0	0	10,769	46,000	0	0	
	人件費	正規職員従事人数	人			2	3	0	0	
		延べ業務時間	時間			240	360	0	0	
		人件費計(B)	千円	0	0	960	1,440	0	0	
		トータルコスト(A)+(B)	千円	0	0	11,729	47,440	0	0	
⑤活動指標		ア	m <sup>2</sup>		-	-	0	55	-	-
		イ	m		-	-	0	190	-	-
		ウ								
⑥対象指標		カ	m		-	-	190	190	-	-
		キ	人		-	-	400	400	-	-
		ク								
⑦成果指標		サ	m		-	-	0	190	-	-
		シ	%		-	-	0	100	-	-
		ス								

事務事業ID	1863	事務事業名	市道蛸ノ浦合足線道路改良事業
--------	------	-------	----------------

<b>(3) 事務事業の環境変化・住民意見等</b>	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	対象路線の冠水被害が恒常化し、また周辺施設へのアクセスに不便を来していることから、解消に向け地元地域住民からの強い要望を受け、令和4年度から事業を開始した。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	地域の理解度が進み、協力的になった。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	早期完成を強く要望されている。

2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている      ▽ 理由・内容 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？ 改良整備により、安全・快適に利用できるため、都市環境の向上につながる。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である      ▽ 理由・内容 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 公共施設の道路整備は、行政が行うことが妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である      ▽ 理由・内容 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 冠水区間の改良要望であることから、対象範囲は適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない      ▽ 理由・内容 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 十分な幅員で改良整備を行う道路計画となっていることから、これ以上の成果向上の余地が認められない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある      ▽ 理由・内容 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 交通の安全性に欠き、快適に利用できない。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない      ▽ 理由・内容 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 必要最小限の費用で実施することから、削減の余地はない。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない      ▽ 理由・内容 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど) 必要最小限で対応していることから、削減の余地はない。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である      ▽ 理由・内容 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 一般に供する道路であることから、受益者負担になじまない。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果	(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 令和5年度に事業完了予定。																							
1 現状維持	<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> <p>※(1)改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入。 (現状維持の場合、コスト及び成果は「維持」) (終了・廃止・休止の場合は記入不要)</p>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		●	×																					
	低下		×	×																					

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
1 現状維持	令和5年度に事業が完了する予定。事業効果の早期発現に向けて着実に事業を進めていく。